

特集:「調子はいえんじゃフェスティバル2015!開催」

～つなぐ つながる ところ ありのままの自分で～

皆でつながろう!誰もが住みやすい街を目指して...

調子はいんじゃフェスティバル 2015

～つなぐ つながる ところ
ありのままの自分で～

11月15日(日)に旧内山下小学校で開催された「調子はいんじゃフェスティバル2015」。当日は700名あまりの来場者で賑わった。フィナーレではoyuuさんのライブに加え、会場皆さん、ボランティア、実行委員全員で未来への希望を胸に紙飛行機を飛ばした。今月号は先月号に引き続き、このフェスティバルの特集を行いたい。

フェスティバルを終えて・・・調子はいんじゃフェスティバル実行委員長より

一月一五日(日)に、旧内山下小学校で開催した「調子はいんじゃフェスティバル2015」は、皆様のお蔭で参加者六九八名と盛大に終えることが出来ました。多くのご参加、ご協力、誠にありがとうございました。

校舎では今大会のテーマ「つなぐつながる 心 ありのままの自分で」をイメージした作品展示、真庭のスカイハート灯さんのワークショップ、各事業所による販売、交流スペース、自主製作映画「ありがとう2」愛(こころ)を伝える映画」の上映、路上詩人Mr. おくらの出店がありました。

メインステージの体育館では、オープニングに俄嘉屋さんのうらじゃ踊りで盛大に始まり、舞台イベントではバンド演奏、ピアノ演奏、ダンスと個性豊かな演出に続き、午後からは、ベニシア・スタンリー・スミスさんの特別講演会、シンポジウム、フィナーレでは、自主製作映画「ありがとう2」愛(こころ)を伝える映画」の主題歌を歌って下さっているoyuuさんのライブ、そして全員で紙飛行機を飛ばして閉会となりました。

私としては、オープニングに皆うらじゃ音頭で輪になったこと、約束の

「ありがとう2」が無事上映されたこと、ずっと企画にあがっていた交流スペースが実現したことが印象に残っています。今回、当事者の力を本当に感じました。そして、大変忙しい中、岡山市長が挨拶に来て下さったことが嬉しかったです。昨年の七月から準備を始め、実行委員、ボランティアさんの協力のもと無事盛会で幕を閉じるときには、思わず泣きそうになりました。

参加してくださった方々から、「とても楽しかった。」「次回も楽しみにしています。」「などと嬉しい言葉を頂くことができ、本当に感謝しています。岡山の地より皆が住みよい未来を願って「調子はいんじゃ!」ありがとうございました!

ベニシア・スタンリー・スミスさん 特別講演会を聴いて

NHK「ベニシアの手づくり暮らし 猫のしっぽ カエルの手」で有名なベニシアさんをお呼びすることが出来て、感無量です。ベニシアさんの娘さんが統合失調症だと知ったのは、前回の調子はいんじゃフェスティバル2013が開催される一か月前、二月のことです。



ピアサポーター仲間であるスピーカーズ・ビューロー岡山のメンバーからのつながりで、東京で開催されたアンチステイグマ分科会国際会議に、ベニシアさんが講演されたことを知りました。NHKのベニシアさんのイメージで、勝手に理想の生活を送られていると思い込んでいた私にとって、その事実は衝撃でした。調べると、以前岡山に住んでいたとのこと。ぜひ次の調子はえーんじやフェスティバルに講演に来てほしいと強く思い、皆の同意を得て、実現の運びとなりました。

実際に会えるベニシアさんは、とてもフレンドリーで気さくな方でした。実はベニシアさんはこのフェスティバルの前、家族間で大変な時だった

そうです。講演では、歌手を目指していたベニシアさんは、岡山に来ていつも歌われ

ているカーペンターズの“Sing”や自身の新作の歌を披露されながら、自身の生い立ちと統合失調症の次女ジュリーさんの話をしてくださいました。私自身も統合失調症だからか、ベニシアさんがジュリーさんと、どんなに向き合ってきたかが、とても伝わりました。

最後に、壇上に腰掛けながら、「地球は美しいところです。死ぬ間際に気づくより、今この瞬間にも気づいて感謝の気持ちでいて欲しい。」と語るベニシアさんは、本当に自然体で、とても素敵でした。ベニシアさん、岡山に来ていただき、本当にありがとうございました。

実行委員長 木曾律子



精神保健福祉シンポジウム 私色の元気の紙飛行機を飛ばそう！ みんなから集まった「こんなことをしたら調子がええこと！」



精神保健福祉シンポジウムでは「こんなことをしたら調子ええこと」をシンポジスト5名と会場の皆様から、事前公募の中から紹介し共有を行いました。発表者ひとりひとりの思いがキラリと光り、会場全体が一体となりました。そして体育館にて集めた皆さまからの「こんなことをしたら調子がええこと」を載せた紙飛行機の内容をご紹介します！

空をぼんやり見上げる・RUN走る・人、がんばれ・大自然ありがとう・よく食べ、よく寝る・猫のしっぽカエルの手をみること・海に出て、潮風をあびる事・風に触れること・歌を歌う・今日は楽しかった・遊ぶこと・編み物や物づくりが完成した時・みんなで笑顔・美味しいものを食べる・愉快的仲間達とのたんぽぽ楽団とバドミントン・50センチのチヌをつる・ゆっくり過ごす・本、音楽、編み物、散歩・H27年度精神卓球大会目指せ優勝・エネルギーをありがとう・今できることだけをやる・平和は私の心の中に・笑顔・おしゃべり・笑顔でいられますように・本を読むのが楽しいです・天国言葉、愛してます、楽しい、嬉しい、感謝してます、ついている、ありがとう、ゆるします・GO!GO!GO!やり通すことが大事・お酒、話し相手・相談を聴いてくれる人がいる・空をみること・ゆっくりいこう・友達と話してる時・釣りと山登りとビール・笑顔つながり・たくさん泣いて、たくさん笑って、たくさん歌うこと♪・植物、家族の笑顔・優しさを忘れず・笑い飛ばす・青空を見る(次号に続く)

当事者交流スペース

同じような生き辛さを持った人同士が、調フェスというイベントの場を中心に交流する「当事者交流スペース」を初企画！

■交流スペースができるきっかけ

この企画のきっかけは、調フェス準備への初参加からでした。色々な企画が意味の有る貴重な企画と感じましたが、個人的に物足りなさを感じていたのも事実でした。それは、一つは来場者が主役となつて参加出来る企画が足りていない事。



もう一つは引きこもりや「調子がえーんじゃになつていない人」など福祉事業所や作業所に行けない人や馴染めない人も安心して調フェスに参加出来る仕掛けが足りていない事でした。

今回の調フェスのコンセプトは『繋ぐ、繋がる心、ありのままの自分』です。引きこもりや「調子がえーんじゃになつていない人」などに安心して調フェスに参加する事で、社会の中に自分達の心の居場所が有る事に気づいて欲しい…

初めての試みであり大変難航しましたが、どんなに時間不足でも、ここでは経験豊富な支援者ではなく、当事者自らが主体的に運営していく事が必要不可欠でした。何故なら、当事者同士だからこそ安心

できる事、心を開ける事、共感・感動できる事が有るからです。但し、調フェスにおいても『当事者交流スペース』においても、そこで言われる当事者とは『障害者手帳を有する者』ではなく、『精神的な困難を抱えて生きている人』の事です。

なので、同じような生き辛さを持った人どうしで対等にコミュニケーションが出来る人なら誰でも運営スタッフの資格が有りました。

■そこはどんな場だったのか…

開催までに、「同じような生き辛さを持った人に尋ねてみたい事」をチラシで募集し、次の5つの応募がありました。

①「同居の親に何かあつたらどうやって生きていけばいいの不安：上手く対処できた方はいいますか？」
②「今まで三十年施設で過ごし、悩みながら何でも一人でやってきた。人どう距離をとるのかわからなくなっています。どうやって対人関係をとっていますか？」

③「父が死亡。続けて母が死亡。現在、ヘルパーさんが毎日入ってくれますが夜は独りぼちです。どうしたらいいでしょうか？」

④「発達障害です。人付き合いが苦手でなかなか自分から話しかけることができません。どうしたらいいでしょうか？」

⑤「病歴が長いのですが、最近主治医が変わり双極性障害Ⅰ型と診断、同じように病氣と闘っている方々と情報交換したい(特に減薬・断薬された方)」
当日は、この5つの尋ねてみたい(打ち明けてみたい)事を中心に、座談をしました。

その場を運営する上で大切にしたい事は、参加者には勿論のこと、運営スタッフにも「ありのままの自分でいい」と実感してもらふことでした。運営スタッフ自身が参加者に自分の状態を打ち明け参加者に心身の状態を無理ない範囲で尋ねました。

そこで「今の調子」と「他人に配慮して欲しい事」の二つの問いを参加の始まりに行いました。

調子が悪い事を告白しても大丈夫、他人が気にしない事が気になつても大丈夫。そのような安心感が無ければ、普通の健常者であつても人は本音を話す事など出来ないのではないのでしょうか？！

結果として、座談内容が同様の生き辛さを持つ人へのメッセージとして模造紙に沢山残りました。

何度も書きますが、この「交流スペース」は、参加や企画はもちろん、開催スペースの準備・応対など、障害者手帳の有無やピアサポートの経験の有無など問わず「精神的な困難を抱えて生きている当事者」がそれぞれ力を尽くし、主体となつて実行されました。全作業をこなした当事者は一人もなく、それぞれが出来る事を出来る範囲で行いました。

例えば、難病を発症し車椅子移動を余儀なくされている方が難病啓発の為にパンフレットの製作・配布をする、調子を崩し当日来れない友人に代わり闘病記本を販売する、引きこもり支援センターを通じて事業所に通うようになった方々が一方で文字おしをし、また一方では会場づくりに力を尽くす。その他にも、支援者と何度も話し合つて意を決して当日の応対役に臨んだ方もいました。

「交流スペース」の参加者や運営スタッフの様子から、「ありのままの個性や想いを、偏見や見下す事無く受け止める事で、人は安心して繋がれる」という事を証明出来たと感じています。

この企画に関わつて頂いた全ての当事者と支援者の皆様はもちろん、全ての生き辛さを持つ方々の「個性」に感謝したいと思います、心から有難うございました。

調フェスが終了した今後も『聞いてみたい(打ち明けてみたい)&受け止めたよレポート』として皆さんに公開していく事を予定しています

今回のこの場で生まれた当事者の共感や活動の実績が、全ての「精神的な困難を抱えて生きている当事者」にとって、「生きていく為のさりげない安心」となりますように…

作品展示コーナー

『つながる つながる 心 ありのままの自分で』をテーマに当日はたくさんのアート作品で埋め尽くされました。展示は教室内にとどまらず、校舎入口の天井には、社会福祉法人岡山市手をつなぐ育成会仲よしによる、色とりどりの糸で織られてたアート作品の展示。



校舎入口の様子

廊下の窓際には、NPO法人灯心会による、絵画のラミネート作品や

などにも行われました。

とても良い雰囲気が残る製図室では、ポスター応募のため出品された絵画を始め、丁寧に作られた手工芸作品や小説、4コマ漫画などが展示された。「椅子を持ってきて、読み込みたい。」「貸出等は可能か。」「というような声を聴くことが出来ました。

同教室では、NPO法人灯心会による『出張美術館』あなたのモナ・リザを探せ』という、ワークショップが行われ、個性豊



廊下窓際の様子

かなモナ・リザが描られました。また、NPO法人灯心会の活動の一環で描かれた、モナ・リザも多数展示され、表情豊かな作品を真剣に見入る参加者の姿もありました。

製図室前の様子



家庭科講義室で行われた、路上詩人Mr. おくらさんによる『あなたをみてインスピレーションでオクラの筆を使って元氣の出る言葉を書きます！』では、野菜のオクラの筆を使っ

て、とても味のある文字を書かれる、Mr. おくらさんこと、清田学さんとの交流を求めて、並んで待っている参加者の姿もあり、書いてもらった方からは「パンフレットを見て初めて

おくらさんコナ



知り、書いてもらいに来ました★「家に持ち帰り、どこに飾るか今から考えるのが楽しみです」等おくらさんとの会話が弾み聞こえてきました。

販売コーナー

一二もの事業所や関係団体が、お抹茶や地ビール、焼き菓子やパン等の飲食の販売や手工芸品の販売を行いました。三つの教室を使用し、座って食べることのできるイートインスペースも販売スペースと同じ教室に設けました。実際に販売したものを「おいしい」と食べてもらえたり、同じものを見て「かわいい」と手言つて過ごせたりする空間や機会は、なかなか多くありません。今後はフェスティバルに限らず、アットホームな雰囲気で行われる地域のイベントがより増え、日常的に地域とつながることが出来たらいいと感じました。(出店展示班より)



販売コーナーの様子



学生ボランティアさん

自主製作映画「ありがとう2～愛(こころ)を伝える映画～」上映！！



自主製作映画「ありがとう2～愛(こころ)を伝える映画～」の上映を計三回行いました。出演者の佐伯さん、坪井さん、山本さんの舞台挨拶をはじめ、主題歌を歌ってくださったO.Y.U.さんのミニライブも開催しました。約一八〇人の方が映画に会場され、試行錯誤の中、作り上げた私たちの映画を観ていただきました。こうして上映ができたのは沢山のサポーターが関わってくれたおかげです。映画の主題歌や楽曲にもボランティアの方からの提供や、岡山映画祭実行員の皆さん、地域の愛育委員さんや支えてくれた多くの皆様のおかげでこの映画が出来上がったことにこの場を借りて感謝の言葉を伝えさせていただきます。ありがとうございます。

「ありがとう2」が出来上がった経緯

タイトルにありますように、実はこの映画は二作目になります。

一作目の、「ありがとう」心の病と向き合う人々の映画は、心の病に苦しみ、時には人に迷惑をかけてきた自分たちから「ありがとう」と伝えることで、未来につながるんじゃないか。ありが

とうのリレーをドキュメンタリーで撮影しようというアイデアが生まれ、出演者を募集し撮影を行いました。そして、二〇一三年に開催された前回の「調子はえーんじやフェスティバル」のメインプログラムとして上映をしました。その後も各地から上映希望があり、県外でも上映を行っています。

この度、二年ぶりにフェスティバルを開催するにあたり、二作目を作成することになり、一作目の思いも引き継ぎ、今回は心の病と共に歩みながらも出会うことができた「ありがとう」をテーマに、出演者自身の語りを通して「愛(こころ)」を伝えたい。そんな思いを込めて制作に臨みました。出演者の募集をかけ、どのくらい集まるのが不安でしたが、応募により四名の出演者が決まりました。また、インタビュアー、編集、ナレーションは実行委員で行っています。出演者一人あたりの撮影も何日間に分けて撮影しています。映画は約五〇分ですが、映画作成の裏にはたくさんのドラマがありました。映画を通じ、それぞれ四人の登場人物、ひとりひとりの「ありがとう」の形、それぞれの「愛(こころ)」の伝えかた。ありがとうのエピソードを味わっていただければと思います。映画を見てくださりました。上映するまで、この映画を見てくださった皆さんがどのように受け止めてくれるのだろう、どんな感想を持たれるだろう…と実行委員みんなで、ドキドキ、ソワソワしたこと

当日上映の裏話

このフェスティバルでは、多くの人が上映の為に関わってくれました。廃校の教室を使った会場ということもあり、雰囲気はありますが映画館のように外の光を遮断するには窓や扉全

面に暗幕を張らなければなりません。数人のボランティアさんが協力し、光が入らないかを確認しながら暗幕を張っていただきました。スピーカーを通しての音の確認をする中で、当日の上映直前まで調整をしてくれたボランティアスタッフもいます。当日、各会場を回りながら上映の宣伝をしてくれたボランティアスタッフもいます。当日、上映に関わってくれた多くのボランティアスタッフは、映画のエンドロールに登場しない「縁の下力持ち」です。みなさんのご協力のおかげで、上映は大成功に終わりました。

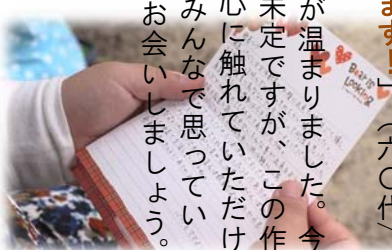
映画を見て下さった方の感想・・・

当日は見てくださった方にアンケートを取り、上映後にたくさんの方から感想をいただきました。少し紹介させていただきます。「本人の思いが、素直に伝わりました。それを受け止める人達、両方の中にあったかき気持ちの流れ、本当にありがとうと言ひ合えるその思い愛(こころ)が大事ですね。」(六〇代「福祉関係者」)

「苦しい思いをしながらも支え合ってみんな生きていく。私自身そうです。映画をみれてとてもよかった。感動しました。」(四〇代「当事者」)

「調子が良い時ばかりではないと思いますが、ゆっくり楽しい日々をエンジョイして生活していただく。応援してます！」(六〇代「当事者家族」)

感想を読んで私自身も心が温まりました。今後、ありがとう3の作成は未定ですが、この作品がたくさんの方の目に、心に触れていただければ嬉しいなと実行委員のみなさんで思っている次第です。またどこかでお会いしましょう。ありがとうございました。



来場者の感想

- ・みなさんの表現の豊かさに心が温かくなりました。色がきれいです！幸せ頂きました。校舎の中をいろいろ見て回れるので面白かったです。もっと広く市民の皆さんも参加されるかたちになるといいですね。
- ・色々な取り組みをやられていることにいつも刺激を受けています。
- ・最後のフィナーレでスタッフの皆さんを含む方々が前に出ていらして本当にたくさんの力が集まってできたイベントだったのだなと感動しました。これからも続けてほしいです。
- ・初めて参加しましたが映画、講演、作品、交流などを通じて皆さんの思いや状態が良くわかりました。
- ・同じ経験をしている人とお話をしたり、地域の皆さんに知ってもらうことはとても大切だと思います。来て本当に良かったです。
- ・楽しかったです。エネルギーを感じました。
- ・初めて来ましたが、とても温かい気持ちになりました。サポートの皆さんの温かいご支援にふれ感動しました。

実行委員、ボランティアさんで記念撮影



あすなろからも出店・展示！



あすなろ家族の会出店【おでん】

あすなろ家族の会では、おでんと飲み物の販売という形で調フェスに参加させて頂きました。お昼に差し掛かるころには二百食以上を売り上げ、大盛況のもと完売となりました。ご来店いただいた皆様には感謝申し上げます。

特におでんは、家族の会秘伝の味付けを前日から施し、皆様に美味しく食べて頂きたいとの思いを込めて、作りました。買っていただいた皆様から「おいしい！」「おふくろの味がする。」「また買いたい」など嬉しいお声を頂きました。

完売した後は、家族の会も調フェスのプログラムやイベントに参加し、皆様と一緒に感動のフィナーレを迎えました。

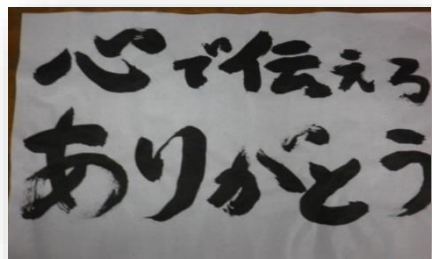
出店ブースは大盛況！
お昼には満席でした！



CAFEMOMO&焼き菓子と雑貨MOMO

MOMOでは今回の調フェスで、カレーとクッキー・焼き菓子の出店で参加させていただきました。カレーはハ〇食、お菓子は一五〇個すべて完売、大盛況でした。ご来店いただいた皆様には感謝申し上げます。

MOMOでは調フェスへ向けてMOMOMENバーみなで協力しながらお菓子作りや仕込みを頑張りました。カレーに入れる玉ねぎはなんと三〇個！玉ねぎを仕込みながら涙を流すもの続出！でした。お菓子作りではいつもの二倍、三倍量の材料を計量したり、混ぜたり・・・当分クッキーはみたくなくらい！と言いながらも笑顔で愛情を込めて焼いていました。今回の調フェスではMOMOチーム・ボランティアの皆様とも協力しとても良い経験ができたと思います。またこのような機会があれば参加していきたいと思っています。そして、これらMOMOMOをよろしく願います。

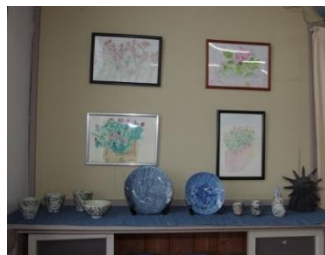


ものづくりArt工房あすなろ

ものづくりArt工房あすなろは、絵画・陶芸・手芸品を出展しました。お客さんが気軽に立ち寄れて、作品そのものの魅力を伝えられる場にしたい！そんな意気込みを持ってスタートしました。

今回の展示場所は教室。壁にくぎを打ちつけて壁飾りを付けたり、テーブルの上に作品を並べたり、天井から紐を垂らして絵をつるしたり・・・少しずつ教室を展示会場に変えていきました。絵は誰もが見やすい高さに合わせて壁にかけ、陶芸・手芸品は手に取ってみていただけるようにテーブルに並べました。

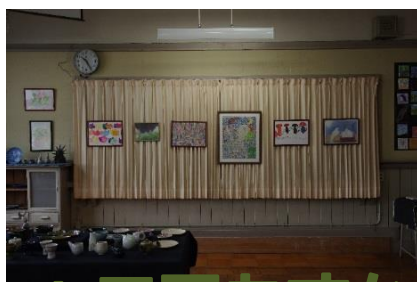
あすなろ展示班には、展示の経験が豊富な『スタッフS』という強い味方がいるのですが、展示に必要な道具がそろわず、急きょスタッフSが外出するというハプニングが発生！どうなることかと一時はドキドキしましたが、展示班を手伝いに来て下さっていた多くのボランティアさんに助けられ無事に終わらせることができました・・・皆さん、本当にありがとうございました！



当日の展示には、あすなろ福祉会に縁のある方、初めてあすなろの作品に触れる方、ものづくりに関心のある方など、本当にたくさんの方々が来てくださいました。どの方も作品を手にとってくださり、中にはお気に入り作品を見つけて「この作品はいいですね！」「購入はできないのですか？」と声をかけてくださる方もいました。

準備に時間がかかった分、片付けにも時間がかかりました。ここでも大活躍したのはボランティアさんたちでした。スタッフがあつたやわんやになりながら伝えたことを的確にくみ取っていただけ、元通りの教室に戻すことができました。ここまで大がかりなことを成し遂げられたのは、多くの方々の力があつてのことなのだ改めて感じられた2日間でした。本当に皆さん、ありがとうございました！

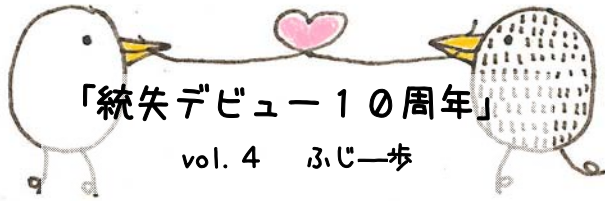
また、多くの方が調子はえ一んじゃフェスティバルをきっかけにメンバーさんの作品と交流し、魅力を感じてくださったことが本当に嬉しかったです。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました！



ものづくりArt工房あすなろ展示スペース

投稿コーナー

あと、一ヶ月でひつじ年も終わりですね～
そろそろインフルエンザが流行する季節です。
みなさん手洗いうがいをしよう★(^o^)



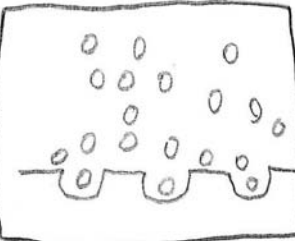
「続矢デビュー1の周年」

vol. 4 ふじ一歩

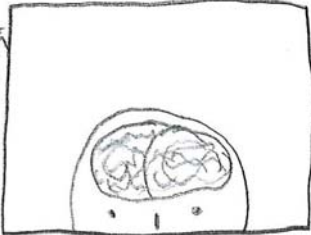
やおい
心の痛くてよく
言うけど、



脳の伝達物
質の異常で
起こるという



じゃあ脳の病気
？



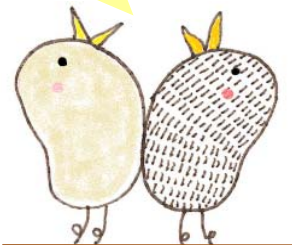
でも診察で
心も見ようといな
い医者はやめた



女子会をしたよ♪

平成二十七年一月十九日
(木)、月に一度の女子会を
行いました。今日のメインテ
ーマは、「メイクの仕方」。
メイクの講習会に参加した
ことのある方から、明日か
らできる簡単メイクのやり
方についてみんなで学びま
した★ また、期間限定の
お菓子を食べたり、お肌の
悩みについて話したりして
楽しくすごしました。

ぱるっ広場



感想・投稿 募集中!
詩、俳句、絵、ジャンル不問
です。郵便、メールfax等で
ご投稿下さい♪お待ちしております★

「たのしい ぼくたち きみたち うた」
ぼくたち たのしい うた うたうよ。
うたうよ を あわせてね。
もてこいるよ。
うたうよ の きみの たのしい
ぼくたち きみたちの うた。

《作詩 ハニイ》

古楽日和

藤井健喜

今年も残すところ一ヶ月足らずとなった。

そこで、今年筆者が(主にテレビで見た)映画の中でよかったものを三つあげてみたい。

最初は『大脱出』である。二〇一三年のア

メリカ映画だ。監督はミカエル・ハフストローム。主演はシルヴェスター・スタローン。

この作品に関してはすでに何度も言及してきたため、ここで改めて述べる必要もないと思う。この映画は民主主義と資本主義のありかたについて問いかける作品であると同時に、アメリカの掲げる「正義」というものに対しても疑問を投げかけている。

ふたつめは『パシフィック・リム』。二〇一三年のアメリカ映画だ。監督はギレルモ・デル・トロ。主演はチャーリー・ハナム。この映画を端的に説明すれば、怪獣映画である。地球上で暴れまわる怪獣を、巨大ロボ

ットで倒してゆく。そんな映画である。日本のアニメを真写でやってしまった、といえばかりやすいかも知れない。人間ドラマがしっかりしており、大人の鑑賞にも充分堪える作品となっている。

最後は『インターステラー』だ。二〇一四年のアメリカ映画で、監督はクリストファー・ノーラン。主演はマシュー・マコノヒー。非常に面白くまた感動もさせてくれる映画だ。こういう映画を作るのがアメリカという国は本当に上手だ。

以上三つの映画をあげた。興味のある方はごらんになって頂きたいと思う。

岡山県精神障害者卓球大会

一月二三日（月）ジップアリーナ岡山にて「第八回岡山県精神障害者卓球大会」が開催されました。全エントリー者が六十名。あすなる福祉会からは、当日五名の参加となりました。初出場の方も多く、緊張から午前前の交流の部（団体戦）では、二戦二敗と勝利を掴むことはできませんでした。しかし、「大きな大会に参加できて良かった」「大会に出るといろんな人と卓球が出来て楽しい」といった感想がありました。

一方、午後からは、競技の部（個人戦）が始まり、皆の緊張もほぐれてきて、本来の自分らしい卓球ができました。競技の部では、ベスト一六やベスト四に入る方や優勝者とあたってしまい健闘するも惜しくも勝利を掴むことが出来なかった方がいました。中でも初出場にして三位入賞した方は表彰とメダルを授与されました。今回、良い結果を残せた方、望むような結果が出せなかった方も、一様に今後の課題と目標が出来たということで、来年に向け練習に励みたいとの想いを胸に会場を後にしました。

あすなる福祉会では、卓球サークルを毎月二回、練習場を毎週火曜と第二第四土曜日に開放しています。メンバーも随時募集中です。お問い合わせは、ぱる・おかやま（086-2011720）担当：岡田まで。



MOMOLEKリーション

ーN牛窓

一月三〇日（月）MOMOMENバー七名で牛窓へ行きました。天気予報では降水確率五十パーセントでしたが、当日は、快晴☆暑いくらいのお天気でした。牛窓をドライブし、海の前のレストランで食事をしました。その後は、オーリーブ園に登り、アイスを食べたり、幸福の鐘を鳴らしたりしました。幸福の鐘は特に皆さん張り切って鳴らしていたように思います。（笑）

オーリーブ園を後にして、牛窓観光ボラの方に牛窓観光案内所として頂き、楽しいひと時を過ごしたように思います。



お問い合わせ MOMO

086-2011718

担当：河村

第十回

KHJ全国大会 in 香川

一月三十一日～一月一日の二日間、香川県高松市でKHJ全国大会が行われました。KHJの略称は、平成二六年度から、Kazoku Hikikomori Japanに改訂され「世界で唯一の全国組織の家族会」という意味です。

一日目は「未来に希望を持てるひきこもり支援」と題して基調講演や基調報告、シンポジウムが行われました。中でも印象に残ったのは当事者団体node代表 宮武氏の話でした。全国各地に飛び回って講演を行い、ネットワークを広げる活動や実際にSNSなどのインターネットを利用し、世代を限定した飲み会や集まりを開催している報告を聞いて、その実行力を見習おうと思いました。

二日目は分科会とひきこもり大学が行われました。当事者支援（居場所と中間的就労支援の取り組み）の内容では、インターネットを利用して遠く離れた当事者同士で一つの就労場所を作り上げた大阪の若者たちの話が興味深かったです。

ひきこもり大学では、当事者が講師となって講義を行い、グループワークを行いました。当事者の気持ちを直接聞くことができ、まだまだどの地域も本人たちの居場所がない事も知ることが出来ました。

今回の全国大会で改めて考えたことは、人生の主役は本人だということ、また、あすてつぷもいろいろな事に挑戦したり、未来に希望が持てるような支援を今後も続けていくことが必要だと感じました。

「なでしこ会」・「メンタルボランティアさくらの会」から見学

今年五月に岡山市御津の家族会「なでしこ会」の総会に招かれ、「サロンの必要性について」というテーマで、あすなる福祉会の活動とばる。おかやまのお話をさせて頂きました。その際は、ばる。おかやまの職員・アスタップで行って来ました。その後、「なでしこ会」さんから、実際に見に行こうとの声が上がりました。十一月三〇日にあすなる福祉会の見学に来てくださいました。「なでしこ会」の家族の方、メンタルボランティアさくらの会の方、職員の方と総勢十八名の方が来所されました。ばる。おかやまのサロンスペースで改めてあすなる福祉会の事業や目指すもののお話をさせて頂き、「なでしこ会」の方から「あすなる家族の会の交流会等でどんな意見が上っていますか?」「計画相談でどんなサービス?」等々質問がありがりました。

またジョブサポートセンターあすなる等を見学して頂き、就労移行支援事業で目指していることや実際に利用されている方からお話を頂きました。

今後も交流・見学といった機会を多く設けて行けたらと思います。ぜひばる。に意見交換しながらあすなる福祉会はもちろんのこと、よりよい地域づくり皆でできたらと思います。

最後に「なでしこ会」さん、今回は遠い所まで皆さんでお越しいただきありがとうございました。また機会があればあすなる福祉会から見学・交流に行かせて頂きたいと思っています。

秋季もも太郎杯

もも太郎杯ソフトボール秋季大会が十一月六日(金)と十一月二十七日(金)の二日に分かれ奥グラウンドにて開催されました。今回の大会は計七チームの総当たり戦の大会方式でした。天候は二日間とも恵まれ、秋空の下、気持ちよくプレーに臨むことが出来ました。

結果、アスナローズは三勝三敗一分けリーグ順位は六位という悔しい結果に終わってしまいました。楽しく、チーム皆が協力しながら試合、応援に取り組めたのではないかと思います。選手の皆さん、マネージャー、応援に来て下さったアスナローズサポーターの皆さん、ありがとうございました。今シーズンの大会は今回で終わりますが、来年の大会に向け、早くも一二月から百間川グラウンドにて一三時から練習にゆつたりと励んでいます。選手・マネージャー募集しております! ちよつと体を動かしたい方も気軽に立ち寄ってみてください。



一月『癒し場』開催しました♪

〜発達障害や対人関係が苦手の人の癒し場〜

十一月十七日(火)運営者を入れて九名の参加で『癒し場』を開催しました。

皆さんから出して頂き、話し合ったテーマは、『〇〇したら生きていたい、〇〇したら生きていける(体験談含む)』『ジョブサポートセンターあすなるをはじめ、あすなる福祉会のやっている事を知りたい、各利用者の利用した感想を聞いてみたい』『買いたい物が沢山あつて選べない、ついつい無駄遣いしてしまう』『一万円あつたら買いたい物』の四つでした。

知りたい事や興味のあることなどが話題に上がり、参加者の方にも、とても参考になったと思います。これから、もっといろんな興味のある話題が出てきて欲しいですね。

また今月から参加者の方に「この場に限らず、他人に配慮して欲しい事」を教えて頂くようにしました。『勘違いが多いので、勘違いしたら許して欲しい』『腰痛が酷いので、知っていて欲しい』『その時、その時の状況に応じて話せてたら助ける』『物事を否定しないで欲しい、否定があると戸惑ってしまう』『雰囲気を感じたり、言葉の裏側を読み取る事が出来ない』『調子が、ゆっくりにしたい』『特にないですよ』『皆さんが楽しい場になって欲しい』などでした。

みんなそれぞれ、配慮してもらいたい事があつて、それをみんなで共有する事で、お互いに配慮し合いながらかわっていかれたら良いですね。今回はテーマを出すのではなく、御自身の近況を話して頂く参加者もいらつしやいました。そんな参加スタイルも全然大丈夫なので、参加をためらっている方や内容がよくわからないかたも、まずは見学参加から試して頂けたらと思います。

◆次回予定◆

12月15日(木)13時〜

多くの方の御参加を心からお待ちしております。見学・途中参加も歓迎です!

* 他の参加者を批判したり改善を強要しない事を第一のルールにしています。

INFORMATION

12月の予定

12月		
8	火	芸術活動
9	水	
10	木	女子会 14 時
11	金	図書館サークル 10 時 手話サロン 11 時 ソフトボール 13 時 忘年会実行委員会 15 時
12	土	鉄ちゃんサークル 13 時 30 分
13	日	
14	月	
15	火	PC 講座 10 時 癒し場 13 時
16	水	
17	木	あすなる忘年会のため、あすなる閉所
18	金	
19	土	お抹茶サークル 14 時 眼鏡っこ 13 時 30 分
20	日	
21	月	
22	火	PC 講座 10 時 卓球サークル 13 時あすなる出発 13 時 30 分現地集合 お菓子づくりサークル 13 時
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	手芸サークル 13 時 30 分
26	土	ばる大掃除
27	日	12月27日(日)～1月4日(月)まで 年末年始のお休み
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	
1	金	元旦
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	ばる開所

※プログラム・サークル活動に参加するには、すべて前日までに連絡が必要になります。参加者が多い場合には前日より早く締切らせていただくこともあります。早めにご連絡ください！！

※日程が変更になることもありますのでご確認ください。

- 発行：社会福祉法人あすなる福祉会
- 〒700-0822 岡山市北区表町 3-7-27
- 編集：ばる・おかやま
- TEL:086-201-1720 FAX:086-201-1713
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

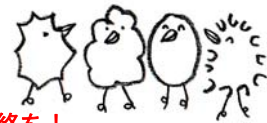
4日・11(金)

●◎○ソフトボール○◎●

みんなで汗を流そう！！

時 間 13時～15時

場 所 百間川グラウンド



※送迎希望の方は必ず事前連絡を！

※自転車やバイクでのグラウンドへの乗り入れはご遠慮ください。

19日(土)

めがね
眼鏡っこ Art of Asunaro

漫画・小説・絵・詩などを書くこと
読むのが好きな人の集い★

自分が書いたり、描いたりしたものを誰かに見てもらいたい人や、見たり読んだりするのが好きだから作品を是非見たいという人集まれ～♪今回はプチパーティを予定！もちろん眼鏡なくてもOK！

時 間 13 時 30 分～

場 所 ジョブサポートセンターあすなる

15日(火)

❀ 癒し場 ❀

発達障害・人間関係で悩んでいる人のいやし場

自分を受け入れてくれる誰かを探していませんか？

時 間 13 時～

場 所 ジョブサポートセンターあすなる

10日(木) おしゃべり大好き女子集まれ！

女子会♪

毎月1回、楽しい雰囲気の中、テーマを決めて女子トークに花を咲かせています。

時 間 14 時～15 時半

場 所 ばる・おかやま 2 階

<12月のピア電話相談日>



	火	水	木	金	土
	8	9	10	11	12
AM	○	休	○	○	休
PM	○	休	○	○	○
	15	16	17	18	19
AM	○	休	休	休	休
PM	○	休	休	休	休
	22	23	24	25	26
AM	○	休	○	休	休
PM	○	休	休	休	休
	29	30	31	1	2
AM	休	休	休	休	休
PM	休	休	休	休	休

ピア電話相談とは
同じような病気の
経験をした
ピサポーター
グループクローバー
が、お電話であなたの
悩みをお聞きしてい
ます。

ピア
電話相談
(086)
201-1719

お気軽におかけ下さい！

